

# 日本史特殊講義5B- I

科目ナンバリング JPH-209  
選択必修 2単位

宮川 麻紀

## 1. 授業の概要(ねらい)

日本古代に起きた様々な事件の背景には、どのような政治体制や社会状況があったのか、学んでいく。扱う時代は5世紀から11世紀頃まで、すなわち古墳時代・飛鳥時代・奈良時代・平安時代である。大王を中心としたヤマト王権の政治体制の成立、律令国家の成立と展開、平安時代の摂関政治などについて、分かりやすく解説する。また、「天皇」の誕生と変質や、古代都市である「京」の成立、武士の発生、貴族文化など、様々なテーマを学ぶ。授業は基本的に講義形式であるが、講義内容から習得したことや考えたことを、論述式の間接テストやレポートで論じてもらう。古代は遠い昔でミステリアスなイメージがあるが、意外と私たちの身の回りのものやその名前にも、古代に淵源をもつものが多い。また、日本中世・近世・近現代史や外国史を学ぶ前提としても、日本古代史を学んでおくことは重要である。

## 2. 授業の到達目標

- ①日本古代史の諸テーマについて、簡潔に説明できる。
- ②各テーマについて、どのような説があるか修得する。
- ③各テーマについて、自分の方で考察できる。
- ④各テーマについて、自説を文章化することができる。

## 3. 成績評価の方法および基準

- (1) 中間テスト 持ち込み可、論述式(到達目標①～③)40%
- (2) 期末レポート(到達目標①～④)60%

## 4. 教科書・参考文献

### 参考文献

木村茂光・小山俊樹・戸部良一・深谷幸治 『大学でまなぶ日本の歴史』 吉川弘文館、2016年、1900円+税

## 5. 準備学修の内容

- 以下のような準備学修をしなければ、テストやレポートで評価を得ることが難しくなる。
- ・『大学でまなぶ日本の歴史』の指定箇所を読み、基礎的な知識を得る。
  - ・授業プリントを見直し、分からない部分は各回の参考文献を読み、復習する。
  - ・レポートに備えて、参考文献を自分で探しておく。

## 6. その他履修上の注意事項

出席状況や授業態度も評価に反映させる。  
ここに挙げた以外の参考文献は、授業内で紹介する。  
欠席した回のプリントを早めに入手し、テストに備えることが必須である。

## 7. 授業内容

- |        |   |
|--------|---|
| 【第1回】  | オリエンテーション<br>・日本古代史とは<br>・各回のテーマと評価方法の説明                      |
| 【第2回】  | 講義 ヤマト王権の誕生と支配体制<br>・ヤマトに誕生する支配体制と豪族の反乱<br>・倭の五王と宋王朝          |
| 【第3回】  | 講義 部民制の成立<br>・6世紀に確立する部民制<br>・氏姓制の成立                          |
| 【第4回】  | 講義 蘇我氏台頭と大化改新<br>・蘇我氏・物部氏の政権と厩戸皇子<br>・乙巳の変と大化改新               |
| 【第5回】  | 講義 律令制の導入と地方支配の変化<br>・「近江令」から養老律令までの変遷<br>・評制から国郡里制へ<br>・壬申の乱 |
| 【第6回】  | 講義 飛鳥の荘厳化<br>・磐余・磯城から飛鳥への王宮の移動<br>・都市化する飛鳥                    |
| 【第7回】  | 講義 官僚制と官人の生活<br>・律令官僚制の成立と官司の種類<br>・官人の勤務・給与・生活               |
| 【第8回】  | 講義 京の成立と展開<br>・藤原京の成立と終焉<br>・平城遷都と京の構造                        |
| 【第9回】  | 中間テスト<br>講義 律令国家財政と流通<br>・租庸調と中央・地方の財政システム<br>・東西市と流通、商人      |
| 【第10回】 | 講義 地方支配とその変質<br>・国司・郡司の任務<br>・金石文・木簡からわかる地方の実態                |
| 【第11回】 | 講義 「天皇」の変質<br>・大王から天皇へ、天皇の性質の変化<br>・天皇と太上天皇(上皇)<br>・天皇の衣服・儀礼  |

- 【第12回】 講義 古代社会の変質と政変
  - ・伝統的氏族の没落と度重なる政変
  - ・藤原北家の台頭と摂関政治の始まり
  
- 【第13回】 講義 貴族と武士
  - ・地方社会の変化と富豪層の発生
  - ・天慶の乱と武士の発生
  - ・宮廷に仕える武官
  
- 【第14回】 講義 摂関期の政治と文化
  - ・摂関をめぐる争い
  - ・平安時代のキサキと国母
  - ・怨霊信仰とケガレ
  
- 【第15回】 講義 古代日本と国際関係
  - ・唐・新羅・渤海との関係性
  - ・国際社会で活躍する商人